

BANZAI NEWS

2021
Autumn
320

定評あるバイスバース・マイクロライン
光学式「イージー・3D」がバージョンアップ!

マイクロライン EASY3D-PLUS



加速する ASV 対応に向けて、
より迅速・高精度アライメント測定で
トータルエイミングをサポート!



- プログラムの刷新で画面レイアウトがより見やすく!
- センサーカメラの解像度アップ、ターゲット形状の変更で、より正確で迅速な測定が可能!
- マグネットクランプの採用でターゲットの取付けが容易に!
- 水準器付きターゲットで取付けもより簡単に。
- ランナウト補正と測定は車両を前後に移動させるだけでスムーズに完了。

特集 BANZAI NEWS

DXで新型コロナウイルス
感染拡大防止、業務効率化(その2)
安全・快適・高収益な職場づくり

BANZAI 株式会社 バンザイ

本 社
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6880
E-mail: eigo@banzai.co.jp

札幌支店
札幌市西区24軒1条7-3-10
TEL 011-621-4171
E-mail: sapporo_br@banzai.co.jp

東京支店
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6840
E-mail: tokyo_br@banzai.co.jp

広島支店
広島市西区南観音2-7-10
TEL 082-233-3201
E-mail: hirosima_br@banzai.co.jp

●営業所 旭川・青森・秋田・盛岡
郡山・山形・新潟・長野
前橋・宇都宮・水戸・埼玉
千葉・横浜・静岡・多摩
北陸・三重・京都・神戸
高松

営業部
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6881

仙台支店
仙台市宮城野区福室2-8-21
TEL 022-258-0221
E-mail: sendai_br@banzai.co.jp

名古屋支店
名古屋市千種区青柳町6-26
TEL 052-732-2600
E-mail: nagoya_br@banzai.co.jp

福岡支店
福岡市博多区那珂5-3-15
TEL 092-411-1261
E-mail: fukuoka_br@banzai.co.jp

●出張所 帯広・函館・富山・松山
岡山・山口・山陰・長崎
大分・熊本

海外販売部
東京都港区芝2-31-19
TEL 03-3769-6894

関東支店
埼玉県北本市朝日4-553
TEL 048-590-3700
E-mail: kanto_br@banzai.co.jp

大阪支店
大阪市長田東3-3-11
TEL 06-6744-1041
E-mail: osaka_br@banzai.co.jp



ISO9001-ISO14001
自動車整備用部品検査用機器の設計開発販売及びサービス
バンザイでは「顧客第一主義」を信条に
お客様とのきずなを大切に、
お客様満足度の向上を図ってまいります。

<https://www.banzai.co.jp>





大雪高原 土俵沼 ————— 北海道

北海道の秘境、大雪山高原温泉に点在する大小の沼をめぐる登山コースは、日本で一番早く色づき始める紅葉の美しさでハイカーたちに人気のエリアです。中でもひととき小さな土俵沼は平ヶ岳をバックにナナカマドやミネカエデなどの木々を水面に映し、静かなたたずまいを見せています。

★歳時記

- 11月 3日 文化の日
- 7日 立冬
- 15日 七五三
- 23日 勤労感謝の日
- 12月 21日 冬至
- 25日 クリスマス



●目次

★特集

コロナ禍におけるビジネス展開に、何が必要なのか？

【第3回】DXで新型コロナウイルス感染拡大防止、業務効率化(その2)
安全・快適・高収益な職場づくり……………①

★モデルショップ訪問

【株式会社IDOM ガリバー小山店】……………⑥
買取・販売に充実のカーライフ提案をプラス
新たなビジネスモデルの構築を推進

★ショールーム……………⑧

★BANZAIガイド……………⑫

特集 BANZAI NEWS

コロナ禍におけるビジネス展開に、何が必要なのか？

第3回

DXで新型コロナウイルス 感染拡大防止、業務効率化(その2) 安全・快適・高収益な職場づくり



新型コロナウイルスの蔓延から2年弱。ようやくワクチンが普及し始めたものの、より感染力の強いデルタ株などへの変異が進み、当面の間は入念な感染防止策が不可欠になると見込まれています。

その中でサービスショップの皆さんが生き残るには、感染拡大防止策を自社の収益アップとES(従業員満足)・CS(顧客満足)向上=「ハッピートライアングル」の形成につなげる必要があります。

当新連載「コロナ禍におけるビジネス展開に、何が必要なのか?」、3回目の今回は、対顧客のDX(デジタルトランスフォーメーション)を終えた後の次なるステップとして、DXによるES向上と業務効率化、収益向上について考えたいと思います。

サービスショップのDXは 自動車OSS導入、2023年1月の 車検証電子化から始まる!?

今回はCS向上のためのIT化やDXに的を絞ってお話しましたが、サービスショップの皆様の経営を長期的に安定したものとするうえでは、ES向上に直結するIT化やDXも重要です。

中でもリモートワークへの対応は、新型コロナウイルスへの感染防止のみならず、多様な人材、多様な働き方を許容するダイバーシティマネジメントの観点からも、最早必要不可欠と言えるでしょう。

とはいえ前々号(本誌2021年春号・Vol.318)でお話した通り、整備・修理はメカニックが整備機器のある工場に集まっての作業、入庫車両のお預かり・お返しや商談時のデモカー試乗などではお客様との対面接触が必須なため、リモートワーク化することはできません。裏を返せばそれら以外の業務はリモートワーク化の対象になり得ます。

車両販売時の営業活動に関しては、前回ご紹介しました通り、ZoomやGoogle Meet、Microsoft TeamsなどのWeb会議サービスやその他専用ツールを導入することで、お客様と営業スタッフの双方が外出先でもリモートでの商談が可能になります。

またサービス部門においても、これらのWeb会議サービスやSNSなどのチャット機能を用いれば、写真や

動画もやり取りしながら、お客様に車両を入庫していたく前に詳しく問診できるため、新型コロナウイルスへの感染リスクを大幅に下げられます。さらに言えば、対面接客への苦手意識が強いメカニックでも、Web会議サービスやSNSを介せば雄弁に説明できるようになる効果も期待できるでしょう。

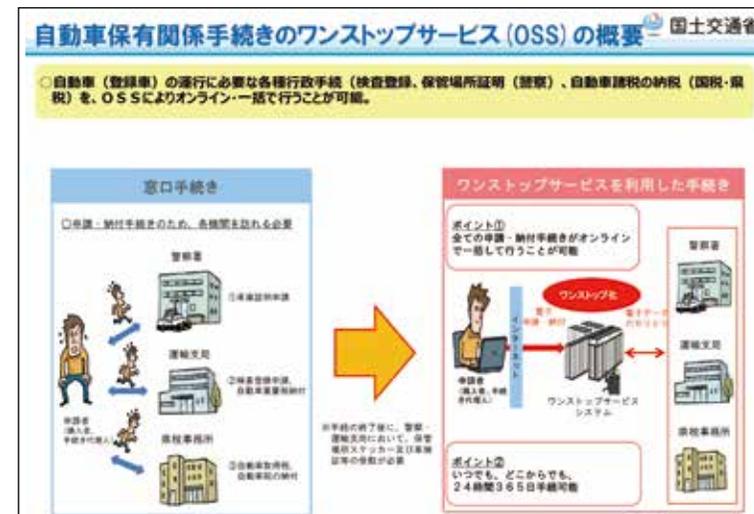
事務に関しては、勤怠管理や給与支払など人事関連のものがリモート化しやすいと思われませんが、サービスショップの皆様にとって最も重要なのは、車両の登録・届出に関する手続ではないでしょうか。

2005年より政府主導で進められている「自動車保有関係手続きのワンストップサービス(OSS)」は、継続検査のOSSが2017年より全47都道府県、新車新規登録やその他手続が現時点で京都府、高知県、徳島県を除く44都道府県で対応しており、残り3府県についても2022年度中の開始を予定しています。またマイナンバーカードを使用すれば、印鑑証明書の取得が不要になるうえ、委任状も紙から電子委任状に置き換えることで、手渡しや郵送による手間と経費、リスクを減らすことができます。

しかしながら、現時点では車検証が紙で交付されるため、例えば指定整備工場の認可を取得されたサービスショップが継続検査の手続をOSSで行っても、その車検証を受け取るために、わざわざ運輸支局などへ出向かなければなりません。これもまた、大きな感染リスクと時間のロス、さらには交通事故のリスクも招きます。

ですが、2023年1月頃に、車検証が紙からICタグに変更される見込みです。これが実現すれば、指定整備工場やOSS手続代行者でも車検証のデータ書き換えと検査標章の印刷ができるようになるため、継続検査に加え、車検証の券面記載事項変更を伴わない変更登録と移転登録に関しても、運輸支局などへ足を運ぶ必要がなくなります。

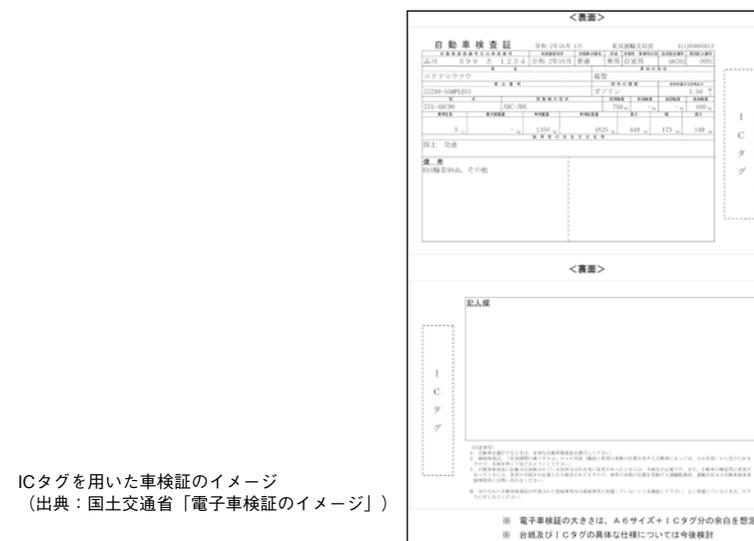
これらのシステムがいずれも、サービスショップの皆様にとって極めて有用なのは間違いありません。コロナ禍中であるなしに関わらず、業務効率化やリスクおよびコストの削減、また子育て世代や高齢者などの時短勤務やフレックス勤務、在宅勤務への柔軟な対応も可能になるなど、労使双方にとってメリットは多く、これらを積極的に採り入れることで、ぜひDXを自社に引き起こしていただきたいと思っています。



窓口での手続と自動車OSSを用いた手続との違い
(出典：国土交通省「自動車保有関係手続きの現状」)



2023年1月に予定されている車検証電子化の概要
(出典：国土交通省「自動車検査証の電子化に関する検討会報告書」)



ICタグを用いた車検証のイメージ
(出典：国土交通省「電子車検証のイメージ」)

コロナ禍が人材不足への 対応を待たなしに まずは機械でできる作業の 自動化・省力化・標準化から

コロナ禍は、不特定多数の人と密な環境になりやすい公共交通機関での移動を抑制する行動変容を促したうえ、外食や旅行、アウトドアレジャーなどへの出費を大幅に低下させました。それが自動車産業においては、新車・中古車需要の増加および単価アップ、車体修理以外でのサービス分野における売上高アップをもたらしたことは、多くのサービスショップの皆様が実感されていることと推察されます。

しかしながらこうした動向は、将来の需要の先食いにつながる可能性があり、決して油断はできません。一方で少子高齢化は着実に進行しており、これにコロナ禍による様々な移動制限が外国人や高齢者の人材活用を妨げる方向で拍車をかけ、かねてより慢性的な問題として指摘され続けてきたサービスショップのメカニック不足は、いよいよ待たなしで対策が求められるようになりました。2021年内に相次いだ不正車検の発生は、この事態を象徴する出来事と言えるでしょう。

ですが言うまでもなく、人材は簡単には増やせず、仮に増やせたとしても十分な戦力となるまで育てるには相応の時間がかかります。

となれば、まず打つべきは、機械でもできる作業の担

い手を人から機械に置き換えることでしょう。その中でも、作業の自動化や省力化、標準化への寄与度が高いものほど、優先して取り組むべきです。

具体的には、まず洗車が挙げられます。洗車を人手で行うには1台あたり30分~1時間/人の工数がかかり、また膨大な水量を必要とします。またメカニックの技術力や体調によって仕上がりにバラつきが出がちです。

これを門型洗車機に置き換えれば、作業時間は拭き上げを含めて約5~10分、使用水量も1/2以下に節約でき、しかも安定した仕上がり品質が得られます。また水で滑りやすく、脚立など不安定な場所での作業も多い洗車作業のリスクも軽減でき、メカニックの万一のけがの防止にもつながります。

さらにボディコーティング機能も活用し有料洗車メニューを設定すれば、サービスショップの皆様は簡易タイプであっても工数のかかるコーティング施工作業から解放されるうえ手軽に高収益が得られ、お客様も長い予約期間や作業時間に悩まされることなく気軽に愛車をキレイな状態に保てます。

なお、門型洗車機の設置には広いスペースを必要とし、また騒音も大きいため、住宅地に隣接するサービスショップでは導入しにくかったことと思われます。しかし近年は、本体・周辺機器とも静音性を高めるアイテムが増えたうえ、屋内にも設置可能な省スペース型の門型洗車機も設定されるようになっています。

次いで優先順位が高いのは、タイヤ交換でしょう。世

界的なSUVブームが続く中でタイヤ・ホイールの大径化が進み、タイヤおよびホイールの単体でも重く高価なものが増えたため、タイヤ交換作業時のリスクは労務的にも金銭的にもますます高いものになっています。またインチアップや低扁平化は軽自動車でも進み、ランフラットタイヤも一部ブランド・車種では根強く使われ続けているため、これらへの対応も欠かせません。

このようなことから、ホイール損傷のリスクが低いレバーレス式のタイヤチェンジャー、それも大径タイヤ・ホイールの上げ下げを容易にするホイールリフターを備え、ほとんどの工程を自動で行えるタイプのものがお勧めです。高齢者や女性はもちろん若い男性のメカニックでも、容易に短時間で確実にタイヤ交換できるように



高い洗浄能力を備えながら節水・静音にも配慮し、高性能コーティングの施工にも対応した門形洗車機「エminent α IV」

なるメリットは、今後ますます大きくなっていくことでしょう。

これらの機器を導入されているサービスショップはすでに多いと思われますが、現時点で入庫車両の処理が追いついていないようでしたら、増設や最新機種への代替も選択肢に入ると考えられます。

バンザイではこのほかにも、様々な作業の自動化や省力化、標準化、そして高収益化に寄与する整備機器を多数取り揃えておりますので、ぜひお気軽にご相談下さい。

次回は、コロナ渦中においても着実に進行している、自動車関連の法改正や行政ルールの変更について、どう対応していくかを考えていきたいと思ひます。



ホイールリフターを備えるほかタイヤ・ホイールのユニフォミティ(均一性)測定も可能な低扁平タイヤ・ランフラット対応レバーレスタイヤチェンジャー「フォーミュラー ユニフォミティ」

買取・販売に充実のカーライフ提案をプラス 新たなビジネスモデルの構築を推進

中古車の買取・販売店の「Gulliver (ガリバー)」ほか各チャネル店を展開する株式会社IDOMでは、このたび小山市内最大級の展示スペースに、店舗および自社サービス工場を併設した「ガリバー小山店」を開業。同社が推進する「安心安全と豊かなカーライフ」をサポートする最新拠点としてオープンしました。



国道4号に面した「ガリバー小山店」。新店舗デザインの採用で地域のカーライフ拠点に



木の質感を生かしたデザイン。左がアフターラウンジ、右側奥にサービス工場を併設

サービス併設で新たなビジネスモデル構築

同社は従来、中古車市場において買取りとオークションシステムによる流通を主体としたビジネスモデルを確立し、さらに現在では小売り店舗の強化へ移行し、「ガリバー」ブランドを中心に約500店舗を全国展開しています。

小山市内から北へ向かう国道4号線に面した「ガリバー小山店」はグリーンのコーポレートカラーを採り入れた外観と、木の温かみを生かした新店舗デザインを採用。面積12,925平方メートルという広大な敷地に展示場および店舗・サービス工場を併設し、買取・販売に加えてアフターサービスまで、トータルに提供する新コンセプトのカーライフ拠点となっています。今回、新店舗の開業について工場長の松野朋希氏は「お買い上げいただいたお客様を最後までフォローできるサービス体制づくり」が狙いの一つであるとのこと。そのため工場には車検、一般整備ほか各種整備に対応する最新の設備、環境が実現されています。

カーケアからアライメントまで最新設備を導入

「ガリバー小山店」は国道に面した側にガラス張りの商談コーナーと、サービス待合のための「アフターラウンジ」を設け、どちらからも店舗奥側のサービス工場をガラス窓越しに見られるオープンなスタイルとしたことが特徴です。サービス工場は店舗内に車検・一般サービスに5ストールと検査ラインを併設。さらにカーケア棟として洗車、クリーニング等の作業に4ストール。そのほか門型洗車機2基、撮影室にターンテーブルを設備しています。

サービスストールには車検・一般サービス4ストールにタンデムリフトを設備、クイック・足回りストールにアライメント対応のワークステージX、および3Dアライメントテスター「ジオライナー」を導入、「あらゆるサービスに対応できる環境に」と最新のサービス対応を実現されています。



サービス工場は5ストールと検査ラインを併設



工場長
松野 朋希 氏



ジオライナー、ワークステージXを導入したアライメントストール

オープン形式のサービス工場として床面はタイル張り、システムキャビネットで整理整頓を徹底



作業時もフラットな床面のタンデムリフトで安全重視の作業空間に

木の質感を生かし温かい雰囲気商談コーナー



商談コーナーからも工場が見えるレイアウトに



グレーのイメージで落ち着いた雰囲気のカフェコーナー



照明も明るく、排気リールも完備。快適な作業環境を実現

設備、技術力でサービス品質向上を目指す

同社では創業以来のビジネスモデルをさらに発展させた形で今回の「ガリバー小山店」に集約、気軽に足を運んでいただける来店型のコンセプトとともに、購入からアフターサービス、さらに買い替えまで一貫して充実したサービスを提供することが狙いです。

さらにエイミング対応や、各メーカー車種に対応する診断機なども最新機器を完備、「お客様に来店していただいて、お車も、工場も見えていただいて、安心してご購入いただけることが最大のポイントです」と松野工場長。国産・輸入車を含めあらゆるブランド、あらゆるサービスに対応できる設備とスタッフの技術力を強みに「サービス品質の向上」を図り、「地域のお客様のカーライフ拠点」としての店づくりを推進しています。

広いキッズコーナーで商談中も安心



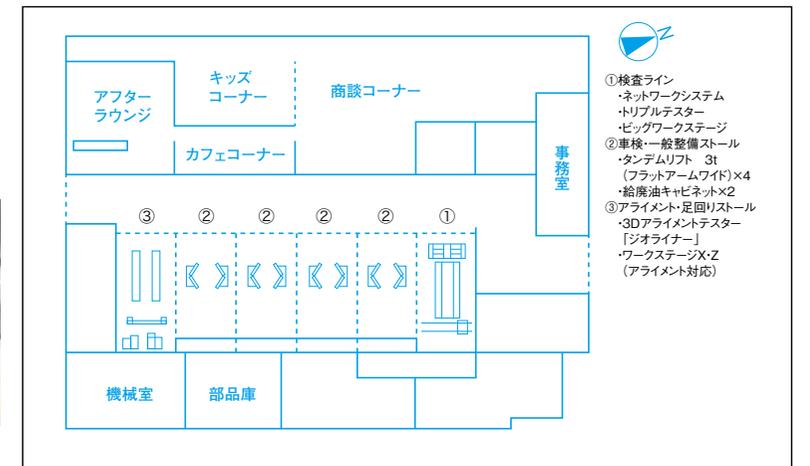
サービス待合のアフターラウンジからもサービスストールが見える



洗車、クリーニング設備と撮影室を備えたカーケア棟



門型洗車機も2基設備



SHOW ROOM

【移動式作業用リフト】ハーケレス ペインター PAINTER-01/02/04/05

高所などの塗装作業にも 安全性・作業性を兼ね備えた移動式作業リフト

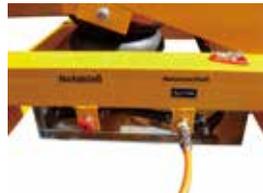
- エアードで故障が少なく、塗装ブース内の作業にも最適!
- コンパクトで移動も楽々、作業性も抜群
- 昇降用コントローラーを上部作業台に設置。作業者の昇降操作も容易
- エア供給口を上部作業台に設置、スプレーガン、サンダー等の使用にも便利
- エアロック式(PAINTER-02/04/05)、メカロック式(PAINTER-01)安全機構、および緊急放出バルブによる安全装置を採用



ストッパー付き大型キャスターで移動、固定も容易



ブース内での塗装作業にも最適



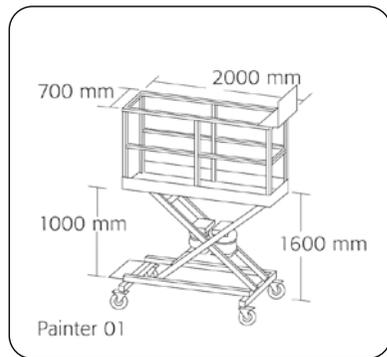
本体下部に緊急放出バルブとエア接続口を装備、万一の際の外部からの降下も可能



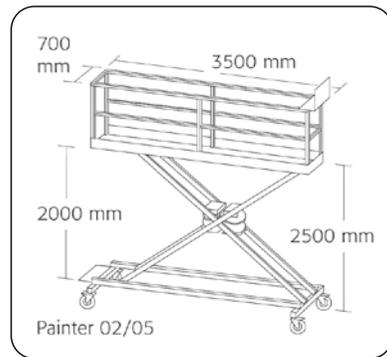
エアバッグ式で故障が少なく、塗装ブース内での使用も安全



ツール類の設置に便利なツール棚付き



Painter 01



Painter 02/05



Painter 04

仕様

型 式	PAINTER-01	PAINTER-02	PAINTER-04	PAINTER-05
定 員		1名		2名
積 載 能 力(kg)		150		250
本 体 寸 法(mm)	2,000×700	3,500×700	2,000×700	3,500×700
安 全 柵 高 さ(mm)	1,100			
作 業 床 最 高 高 さ(mm)	1,600	2,500	2,600	2,500
作 業 床 最 低 高 さ(mm)	600	500	600	500
本 体 重 量(kg)	280	450	430	460
エアー圧(最大)(MPa)	0.8			
ロ ッ ク 機 構	メカロック式	エアロック式		

※本製品は労働安全衛生規則上、移動式足場に該当し、高所作業車には該当しません。

SHOW ROOM

【EV・PHEV用充電設備】Panasonic ELSEEV(エルシーヴ) DNH326/DNH323

EV・PHEV車両整備に不可欠な充電設備の 新・増設に、導入が容易な普通充電器

- 急速充電より設置費が安価な普通充電器です
- 国内ほとんどの車種に対応
- キュービクル(高圧受変電設備)が不要
- 新デザイン、小型化で設置場所を選びません
- スタンダードな3kW(DNH323)、最大出力6kW(DNH326)の2タイプ

充電スピードは従来の約2倍に!(*※)



※6kW充電には車両側が6kW充電に対応している必要があります。
※従来型ELSEEVで充電した場合との比較です。
※6kW充電にはブレーカ定格40Aが必要となります。

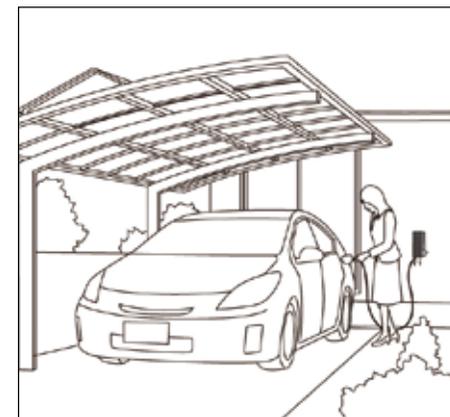


<本体写真>



場所を取らないコンパクト設計

<設置イメージ>



<専用Dポール>



壁面から離れた場所でも専用のDポールに設置が可能
※専用Dポール(DDP620S)は別途オプションとなります。

<充電用コネクタ> 充電用コネクタ6kW



充電用コネクタ3kW



仕様

型 式	DNH326	DNH323
タ イ プ	6kW 標準タイプ	3kW 標準タイプ
定 格	30A 200V AC(単相)50/60Hz	16A 200V AC(単相)50/60Hz
基 本 機 能	CPLT機能(IEC61851-1 ed3.0 Annex A準拠)	
筐 体 材 質	樹脂製	
寸 法(mm)	W132×H350×D115 (突起部含まず)	
質 量(kg)	約6	約5
使用温度範囲(°C)	-30~+40	
防水保護等級	JIS C 0920 IP55相当	
充電ケーブル長(m)	約5 (引き出し部からの寸法)	
設 置 方 法	壁面取付け方式	
設 置 場 所	屋内・屋側・屋外(日本国内に限る)	

※充電できるのはMode3車両のみです。Mode1車両は充電できません。

SHOW ROOM

【検査ライン用指示メーター】コンビ・サイドスリップテスター複合メーター ABS-180B他

コンビ・サイドスリップの指示メーターを複合(トリプル)メーター仕様に!

- 設置環境に合わせてサイドスリップテスターのレイアウトが自由になります。
- 複合(トリプル)メーター化で検査ラインがすっきり!
- オプションで同タイプのメーターが最大2台まで増設可能。

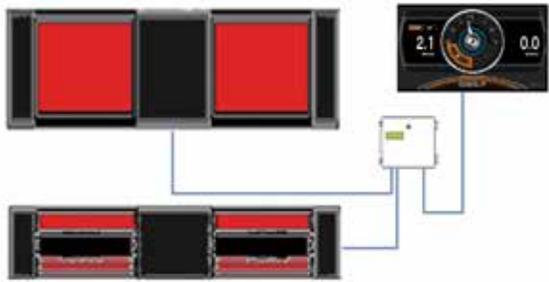
サイドスリップテスターはコンビネーションテスターの前後いずれも設置可能



小型車検機構成イメージ

【小型車用本体構成】
 コンビネーションテスター: BST-180B、BSTM-180B
 サイドスリップテスター: WGK-180B
 指示メーター: デジタルメーター、27インチグラフィック、42インチグラフィック

- <商品構成>
- ・コンビネーションテスター
 - ・サイドスリップテスター
 - ・複合(トリプル)メーター※
- ※大型用はグラフィックメーターのみの設定となります。



大型車検機構成イメージ

【大型車用本体構成】
 コンビネーションテスター: BST-500E
 サイドスリップテスター: WG-500CD、WGW-1000BD、WGT-1000BD
 指示メーター: 27インチグラフィック、42インチグラフィック

【エンジン整備用架台】エンジンスタンド ES-250/ES-550

より作業性を向上、移動もらくらく!

- 移動用ハンドルでエンジン取付け状態でも移動がらくらく!
- 固定・自在キャスターを最適の配置に
- 受け皿に取っ手を設けて着脱を容易に



仕様

型 式	ES-250	ES-550
取付能力	250kg	550kg
本体寸法(mm)(※)	980L×675W×880H	1,250L×715W×1,030H
回転用減速機	—	○
回転角度	360°	360°
オプション	L型アーム (ES-250-OP-L)	L型アーム (ES-550-OP-L)

※移動用ハンドルを除く
 ・L型アームについては形状が異なる為、新旧で互換性はありません。
 ・エンジン用ボルトは新旧で互換性があります。

SHOW ROOM

【アライメントデータ】マイクロライン用アライメント基準値データ DATA-JP-19/ DATA-IPC-V43.00/ DATA-JP-V5.04

マイクロライン用、2018年1月から2019年3月までの新型車アライメント基準値データを追加

<対応機種>

・ML-Easy3D ・ML8(R)TECH ・ML5000TECH ・ML1800-6C ・ML-WIN(アップグレード機) ・ML5001DC ・ML81TECHDC

<商品構成>

- ・インストール用CD-ROM
- ・取扱説明書(インストールマニュアル)
- ・2019年版メニューリスト

仕様

	①	②	③
型 式	DATA-JP-19	DATA-IPC-V43.00	DATA-JP-V5.04
商 品 名	マイクロライン用国産・一部外車データ 2019	マイクロライン用輸入車アライメント基準値データ	マイクロラインベント用基準値データ Ver5.04

※国産車と輸入車の両方を対象とする場合、上記①、②が必要となります

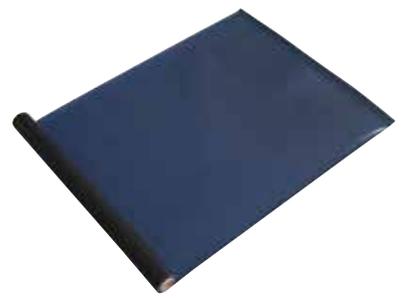
【エイミング用電波吸収材】電波吸収パネル/電波吸収シート TC1018-002N(パネル) LI01-MSZ(シート)

エイミング時の支障となる金属物を遮蔽し電波を吸収して金属物がない空間を作ります

- 車両前方ミリ波レーダー(76~77GHz)のエイミング時に使用。金属物を覆うことで、金属物がない空間を再現。
- ヘッドライトテスターなど床上の金属物を覆うには「電波吸収パネル」を使用。
- サイドスリップテスターなどの埋設機器を覆うには「電波吸収シート」を使用。



電波吸収パネル



電波吸収シート

品 名	電波吸収パネル
型 式	TC1018-002N
対応周波数(GHz)	76~77
寸法(展開時)(mm)	W1,065×D530×H1,807
減衰量(db)	-15
総重量(kg)	14

品 名	電波吸収シート
型 式	LI01-MSZ
対応周波数(GHz)	76~77
寸法(展開時)(mm)	T3.4×W1,000×L2,000 ×2ロール入り 計4m
減衰量(db)	-15
総重量(kg)	11

BANZAI GUIDE

BANZAI WEB 第3回 セミナー

『整備ショップが今やるべき事』シリーズ

新型コロナウイルスの収束が見えないこともあり、依然として内覧会を各地で実施出来ない状況にあります。このような状況の中、弊社ではお客様に最新の法規制や安全啓蒙、作業効率改善機器等の情報発信を行うべく、昨年度に引き続き WEB セミナーを開催いたします。WEB セミナーの詳細な内容、スケジュールは右ページをご覧ください。

1 '21年 新時代の経営戦略と売上拡大策



攻めの顧客対応をキーワードとして、売上アップの方策と永遠の課題であるCS（顧客満足）を再定義し、CS要件からの取組を提案します。

60分

株式会社ティオ
代表取締役 山本 覚

2 整備工場における助成金活用



業務改善助成金を主とした助成金の活用について、分かり易く解説します。セミナー後に希望者へ個別の無料相談も実施致します。

60分

福岡社会保険労務士法人
村里 男樹

3 整備機器の事故防止を目指して



事故が発生してしまうと大きなリスクを負うこととなります。点検の実施と正しい使用で事故の殆どが回避出来ますので、事故発生防止対策について説明致します。

60分

株式会社バンザイ
サービス部 主任 小野寺 琢美

4 点検整備の見直しと特定整備



2021年10月から開始された点検基準の見直しと特定整備の関連性、並びにエイミングサポート機器の紹介を行います。

60分

株式会社バンザイ
営業情報企画部 参事 福田 守利

5 特定化学物質「溶接ヒューム」の危険性とその対策



2021年4月に新しく特定化学物質となった「溶接ヒューム」の法規制と必要な対策について説明致します。

60分

株式会社バンザイ
営業情報企画部 主事 河野 元彦

6 収益アップに繋がる洗車ビジネス



with コロナで洗車用品が需要を伸ばしている今、カーオーナーの関心が高い、洗車ビジネス展開について商品紹介を含めて説明を行います。

45分

株式会社ダイフクプラスモア
営業本部 営業推進部 分部 翠

7 冷暖房設備による環境改善



昨今、気温が徐々に高くなっていく背景から、空調設備の重要性、並びに冬に向けた暖房器具の紹介を行います。

20分

ダイキン工業株式会社
空調営業本部 営業開発部 斉藤 宏之

各セミナーは
事前登録をして頂くことで
閲覧が可能となります。

※各セミナーは定員制ですので、お早めにお申込みください。



皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催期間 2021年 11月9日(火)・10日(水)・11日(木)・12日(金) 4日間

WEB セミナーの概要

- YouTube を利用した、動画配信となります。
- 閲覧には事前登録が必要となります。詳しくは右記 QR コードよりアクセス、または弊社 HP をご確認ください。
- セミナーに関する商品紹介の特設ページも公開しております。
- セミナー終了後、アンケートにご回答を頂いた方へは特典として「デジタルギフト QUO カード Pay (500 円分)」を贈呈致します。

事前登録制

下記 QR コードを読み取りアクセスをして頂き、事前登録を行ってください。

※弊社 HP からアクセスができます。



※ QR コードは株式会社バンザイの登録商標です。

WEB セミナー動画配信スケジュール

7 講座のセミナーを 4 日間 (11/9 ~ 12) で 2 回ずつ配信致します。(合計 14 回)

	10:00 ~	11:00 ~	13:00 ~	15:00 ~	合計
11/9	1		3	7	3講座
11/10	5	3	2	6	4講座
11/11	7	2	4	5	4講座
11/12	4		6	1	3講座

編集後記



先日、検診目的として歯科医院を受診しました。幸いなことに治療が必要な箇所はありませんでしたが、口腔内のクリーニングや毎日の歯磨きの指導などを行っていただきました。弊社で販売を行っている整備機器に関しましても定期

< 蓮見 >

的な点検を実施することで不具合の早期発見や防止に繋がります。機器を末永くご愛用頂き、整備機器による事故を未然に防止するためにもご使用の機器の点検をご検討いただければ幸いです。